

農業



平成27年4月号
会誌 No. 1597

目次

巻頭言

横井時敬と東京農大と大日本農会……………高野 克己 3

論 壇

和食文化の大変容……………祖田 修 4
- 「米と魚」から「パンと肉」へ -

農業懇話会

近年の水田農業における栽培技術の動向について……………金田 吉弘 6
- 土壌肥料分野を中心として -
講演…………… 6
質疑応答・意見交換…………… 16

先進的農業経営研究会

関東地域の大規模水田作経営の事例…………… 23
- わが国農業を先導する先進的農業経営研究会（第5回会合） -
話題提供
環境にやさしい農業を実践し、米の生産から販売まで
……………（有）アグリ山崎 山崎 正志 23
質疑応答…………… 31

研究の最前線

野菜新品種，時代を切り拓くため……………坂田 好輝 45

農業・農村の現場から

「女性が拓く農業経営」シリーズ（第5回）

自分らしい働き方を目指して……………諸藤 享子 57

－米肉牛農家の農産加工所経営者 福岡県筑紫野市－

世界の農業は今

イタリアにおける稲作に関する現状……………笹原 和哉 62

表彰

平成26年度大日本農会賞の受賞者…………… 67

付：大日本農会と東京農業大学の関係

統計情報…………… 71

平成26年産飼料作物の収穫量（牧草，青刈りトウモロコシ及びソルゴー）

農政情報…………… 72

大日本農会だより…………… 73

ミニ情報

「米の販売価格の推移」…………… 44

表紙写真説明

春を迎えた「大山千枚田」（千葉県鴨川市釜沼^{かまぬま}）

東京から一番近い棚田として親しまれる大山千枚田は，日本で唯一雨水のみで耕作されている天水田との話だ。約4ヘクタールに大小375枚の田んぼが綺麗に手入れされ，ゴールデンウィークに棚田オーナーが一斉に田植えするのを待っている。棚田オーナーはなかなかの人気ようで，継続しておられる方を除き，抽選でオーナーさんを決めている。東京近辺から通っておられる方がかなり多いそうだ。

現在，シュレーゲルアオガエルの声があちらこちらから聞こえる生物多様性の宝庫である。（因みに，草刈りをしているのはマネキン案山子）

鴨川市は，一般に水稲早場米地域であり，4月10日あたりから田植えが行われ，8月のお盆頃には収穫されるとのことである。

（写真／説明：編集部）